

理科



令和2年度 本校研究テーマ
夢中になって問い続ける生徒の育成
～教科の本質に迫る授業の工夫を通して～

これを受けて、本校理科の研究テーマは

理科の本質に迫る授業実践

です。

○ 理科で目指す「夢中になって問い続ける生徒」の姿

例えば... 実験結果から新たな課題を見出したり、次に繋がる実験を発案する姿
納得がいくまで実験に繰り返し取り組む姿
結果と考察を発表する場面で科学的根拠に基づいて盛んに議論する姿
を求めています。

○ 「夢中になって問い続ける生徒」の姿を、 本質に迫る授業からめざします

本校で考える理科の本質とは、理科における見方・考え方を働かせながら、
「自然の事物・現象を科学的根拠（実証性・再現性・客観性）
に基づいて説明すること」と捉えて授業改善に取り組みます。

○ 科学的根拠に基づく説明で、もっと理科らしく

手順追従の実験から自らの仮説を検証する実験へ
発表は感想から考察へ 意見交換から議論へ
根拠に基づく説明で、理科をもっと理科らしく。
そんな授業を私たちは生徒と共に目指します。

